



めたばる

発行

自衛隊目達原駐屯地
〒842-0032佐賀県神埼郡
吉野ヶ里町立野7-1
TEL.0952-52-2161



上記掲載のQRコードから目達原駐屯地ホームページを開覧できます。

巻頭の辞

九州補給処長兼ねて目達原駐屯地司令
陸 将 補 吉 野 俊 二



新編部隊へ異動する隊員への訓示・激励（臨時駐屯地朝礼）



准曹士隊員との懇談（初度視察大分支部にて）

4月から平成31年度が始まりました。目達原駐屯地では、改編により駐屯する西部方面後方支援隊に新たに2個大隊が加わり、災害時などにおける補給体制が強化されるとともに、隊員も100名以上増え大変活気が付いています。この隊員の中には全国から異動してきた者や初めて陸上自衛隊に採用された新人もおり、伝統ある目達原の地に早く慣れ、公私ともに充実した勤務ができるよう皆頑張りついでいると聞かれます。この4月という時期は新しい希望に溢れた時期でもある半面、異動等による環境の変化により心理的にも物的にも注意を要する時期でもあります。普段何気なく当たり前にできるようなことも心と体が離れてしまい、「あれ？」と失敗してしまうこともあります。このような様々な面で不安定な時期こそ、我々は地に足を付けて目の前にある業務や訓練を確実にこなしていかなければならないと思えます。

目達原駐屯地に所在する隊員は、兵站（ロジスティクス）と航空を専門にする技術者集団であり、九州から沖縄までの広範なエリアを支援する任務があります。その中で私は隊員一人ひとりを大切に育てていくことが極めて重要であると思います。それは一人ひとりが充実感をもって仕事に取り組み知識や技術を向上させれば、部隊としてこの上もなく頼りになるからです。「隊員を大切に育てる」、これは大変難しい事でありますが、我々は何のために仕事をしているのか、情報共有をしつかりして目的を示し、職務の範囲を示してその中で柔軟に仕事ができるようにし、そしてその職務に責任を持たせ実行させてみる、これを適切に組織として行うことが出来れば着実に、確実に人は育っていくのではないかと考えています。

最後になりましたが、「令和」の時代のもと「地域に愛され頼りになる駐屯地の育成」を目指して、隊員一同、引き続き任務に邁進してまいりたいと思えます。

目達原駐屯地見学ツアー

1月25日（金）、目達原駐屯地において、多数の一般公募者の中から抽選で選ばれた18名の方々が駐屯地見学ツアーに参加されました。

広報室長による駐屯地の概要説明から始まり、西部方面ヘリコプター隊の装備品見学では、UH-60JAを間近に見学し記念撮影を実施しました。

また、九州補給処整備部火器班による小火器整備の見学では参加者は、多くの質問があり、興味深く見学をしていました。体験喫食では、隊員食堂において隊員と同じ食事を取りました。当日のメニューはツナカレーと手作りデザートで「おいしい！」と声が上がりました。

参加者の方から「隊員の皆様が仕事に誇りを持ってやられていることに感心しました。」とコメントを頂きました。

部隊見学



九州補給処調達会計部による会計業務見学



第4飛行隊による装備品見学



九州補給処整備部による整備工場内見学



若年隊員との懇談

目達原駐屯地は西部方面後方支援隊、第3対戦車ヘリコプター隊、西部方面ヘリコプター隊、第4飛行隊、管制気象隊第1派遣隊、第321基地通信中隊、九州補給処総務部、調達会計部、整備部の支援のもと、2月7日（木）・14日（木）・21日（木）のそれぞれ日に「佐賀県内募集対象者」「小郡市自衛隊家族会の部隊研修」「福岡県内大学生」延べ人数56名に対して部隊見学を実施しました。

参加者からは、「駐屯地や隊員の事が良くわかりました」と所見をいただきました。

引き続き駐屯地は、部隊見学を通じて募集対象者に対しては入隊意欲の向上に努め、協力団体等に対しては駐屯地への理解促進を深めていきます。

健康教育

目達原駐屯地は、2月4日（月）健康教育の一環で、自衛隊熊本病院看護官甲斐1尉を講師として、禁煙教育（支援）を実施しました。

参加者207名に対して、たばこの害、やめられない理由、禁煙の方法、禁煙後の体や経済への変化等の内容で約1時間教育しました。Q&A方式や、透明容器内の黒いタールを目にしている、大変興味深く聴講し、アンケートでは、多くの隊員が禁煙してみようという結果も得られました。

駐屯地は、今後も引き続き、隊員の禁煙を積極的に支援していきます。

駐屯地らっぱ競技会

目達原駐屯地は3月7日（木）らっぱ競技会を実施、駐屯地所在部隊のらっぱ特技保有者（3曹以下）27名が参加し、個人トーナメント方式により競技を行いました。

選手は審査員・部隊長・観衆の熱い視線を一身に浴び、緊張高まる中、個人の威信・部隊の名誉



優勝 整備部 東3曹

鳥栖市ロードレース大会

1月13日（日）第3対戦車ヘリコプター隊は、鳥栖市で開催された「鳥栖市ロードレース大会」の運営を支援しました。

調理長落合1曹を核とした隊員8名は「野外炊具1号」を使用し、豚汁約1,600食を炊き出しました。

ランナー達は、それぞれの汗を流しながら、冷えた体を温めようと、出来立ての豚汁を求めて長蛇の列を作っていました。



レース後の学生達と記念撮影



愛情をこめて・・・

観桜のための一般開放

駐屯地は、3月31日（日）観桜のための一般開放を行いました。

当日は、寒の戻りで風も吹く中ではありましたが、県内外から約2200名の方々が来場し、展示戦車や桜をバックに記念撮影をするなど、様々な観桜された活況を呈しました。



桜や戦車をバックに記念撮影をする来場者

「かささぎのつぶやき」
「幹部自衛官であるが故に」
以前、統合幕僚監部において通信運用の任務に携わっていた時に強い印象を受けたのが「海空自衛隊はビークル（艦船や航空機）が戦力の主体であり、陸自は人が主体なんだ」ということだった。

それ以来、部隊の強化を図るための基盤として重要な要素は「人の戦力化」であり、「如何にすれば隊員個人が何事にも積極的に自らの発意をもって前向きに行動できるか」ということを考えるようになった。

人は納得したことや理解できたことについては積極的に行動できる。特に現代の若者はそうである。しかし、教えられていないのに、いきなり怒鳴られてはやる気も失せるといふもの。「教える罪」を犯しているのである。

昨今、ハラスメントや自らを傷つける隊員を耳にするたび心がつらくなる。同時に、幹部自衛官であるが故に努力を傾注しなければならぬ極めて重要な役割は、「隊員の育成」であると考えている。

私は隊員の平素の笑顔と、事に臨む真剣な眼差しを見続けていきたい。

九処 整備部長 神藤1佐

九州補給処

九州補給処部隊表彰 第3級賞状受賞

九州補給処は、3月18日(月)、体制改革に伴う南西諸島配置部隊に対する補給品発送等の体制改革業務及び平成30年度方面実動演習における、検証及び兵站支援の実効性の向上に尽力し、さらに、九州北部豪雨に伴う災害派遣における派遣部隊に対する補給業務を実施する等、方面隊の隊務運営に多大な貢献をした。



西部方面総監より表彰される吉野処長(総監部健康にて)

功績により3級賞状を受賞し副賞とともに、西部方面総監より表彰されました。

奄美・宮古新編業務のための補給・輸送

九州補給処は、平成31年度末に鹿児島県奄美大島及び沖縄県宮古島に新編される部隊のため、本年1月中旬から3月上旬にかけて約1300品目、コンテナ150本分の補給を行いました。



大型フォークリフトによるコンテナの搬入

コンテナ約150本という物量を短期間で取り扱う経験はこれまでになく、任務に先立ち補給部を中心として受け入れ部隊と補給品の選定や補給の優先順位、また、コンテナを搬送する業者等と綿密な調整を行い、必要な時期と場所に確実に完全な状態で届けることができました。



業者から引き渡し

補給品をコンテナに積載する、いわゆるバンニングにあたっては、補給品が海上輸送中に破損しないよう形や重さの違うものを上手く組み合わせ緩衝材を適切な位置に組み込み破損を防止するとともに、コンテナの容積を最大限に活用できるようにその入れ方を工夫して実施しました。これらのやり方はこれまでの鎮西演習において九州補給処として訓練成果を積み重ねてきた結果であり、教訓を取り入れることができた結果でもありました。これからは九州補給処は強靱な陸上自衛隊の創造に向け、新編部隊の作戦基盤の構築のため隊員一人ひとりが情熱を持ち、着実に兵站の任務を遂行して参ります。

駐屯地展示戦車 化粧直し・落成式

九州補給処整備部は、駐屯地展示整備である61式及び74式戦車の整備を実施しました。約2ヶ月の整備を経て、3月18日(月)に駐屯地司令及び九州補給処副処長による戦車への桜印注記をもって終了しました。重機関銃及び無線機アンテナは工作課で製作したものですので、是非よく見てくださいます。広報の顔としてリニューアルした戦車と桜をバックに、皆さんもご家族と記念撮影してみたいか



6年分の錆び取り、洗車

航空燃料保管等安全点検 (那覇・南大東・与那国)

九州補給処鳥栖燃料支処は、3月11日から13日まで、那覇、南大東、与那国において支処長以下2名により航空燃料保管等安全点検を実施しました。



航空燃料抜き取り点検を実施する鳥栖支処長(右) 岡2佐(左)



タンク車の現況確認作業(那覇)

補給処より遠く離れた離島において、各隊とも書類等並に航空燃料入りドラム缶等器材を適切に管理し、他事も含めた航空部隊の喫緊な要望にも迅速に対応している事を確認しました。重要さを増す南西部隊に間近で接することが出来る、兵站の一端を担う者として身の引き締まる思いでありました。

西部方面後方支援隊 編成完結行事

西部方面後方支援隊は、3月26日、第105補給大隊、第103弾薬大隊及び第301戦車直接支援中隊の新改編に伴い、編成完結行事を行いました。補給大隊及び弾薬大隊は、目達原駐屯地に所在し、各種事態へ実効的に対応する観点から、各種補給支援及び弾薬補給支援の即応性を向上させるため、部隊の一部が即応予備自衛官で構成されるコア部隊として新編されました。



戦車の化粧直しに従事した隊員一同で集合写真



吉野処長による桜印の注記



西部方面後方支援隊長から各部隊長に隊旗を授与

隊射撃・武装走競技会

西部方面後方支援隊は、1月29日に早岐射撃場において、射撃競技会、3月5日に目達原駐屯地において、武装走競技会を行いました。射撃競技会は、所属隊員の射撃検定の平均点及び選抜隊員による至近距離射撃、武装走競技会は、所属隊員の3km走の平均タイム、選抜隊員による2kmの武装走及び個人の部の武装走により競い合いました。特に、武装走に参加した隊員は、優勝のために日頃の練習成果を発揮し激走していました。



優勝のために激走!

「必中」の精神での至近射撃

各競技会の総合の部優勝は、ともに第304普

補給中隊訓練

第106全般支援大隊補給中隊は、2月18日(日)までの間、十文字原演習場において、平成30年度後方支援隊訓練受閲時の不備事項は正と、今年度の訓練検閲受閲に向け、中隊訓練を行いました。



小銃用掩体構築要領の説明

喜界島不発弾処理

第104不発弾処理隊は、3月13日、鹿児島県の喜界島において、米国防産250kg爆弾の安全化作業(信管離脱)を行いました。



信管離脱を行う隊員



記念式典での隊長式辞



感謝状贈呈式

盛大に開催された祝賀会食は、隊員約200名が参加し、OB及び来賓の方々との楽しい会話に花を咲かせて親睦を深め、本記念行事は盛会のうち

に終了しました。

了しました。第104不発弾処理隊は、引き続き安全確実な処理任務を遂行し、民生の安定に寄与してまいります。

第3対戦車ヘリコプター隊

慰霊行事

第3対戦車ヘリコプター隊は2月10日(日)F格納庫地区において、昨年2月5日に発生したAH-64D航空事故により殉職された故齊藤謙一1等陸佐、故高山啓希陸曹長の慰霊行事を執り行いました。殉職した兩名に哀悼の意を表し、遺徳を偲ぶとともに、ご遺族に対して部隊としての誠意を示しました。また、全隊員に対し航空安全教育を実施して、本航空事故の風化防止を図るとともに、航空事故の絶無と安全を誓いました。

ヘリコプター隊 武装走競技会



個人走 スタートの瞬間

第3対戦車ヘリコプター隊は3月13日(水)及び14日(木)平成30年度ヘリコプター隊武装走競技会を実施し、隊員個々の闘争心を涵養するとともに、士気の高揚及び団結の強化を図りました。特に断走においては隊員相互に助け合い、団結して走破するチームが多く見られ、部隊の団結力の強さを改めて確認しました。

西部方面ヘリコプター隊

51周年創隊記念行事

西部方面ヘリコプター隊は、3月10日(日)目達原駐屯地において創隊51周年記念行事を実施しました。当日は、西方ヘリコプター隊OB会長音成様をはじめ多数のOBの方々及び隊員御家族に参加して頂き、隊員の活動写真展示をはじめ航空機展示、官用車試乗等を楽しんで頂き隊員家族相互の親睦を深め部隊に対する信頼感を醸成しました。また、祝賀会食においては参加して頂いた方々と「創隊50周年の歩み」のDVDを鑑賞して現在までの隊歴を振り返るとともに新たな任務遂行に向け決意を固めました。OB会の皆様及び御家族の皆様からの日頃の御協力と御支援に心から感謝を申し上げ、ヘリコプター隊に対し更なる御理解を賜うよう、今後も任務に邁進して参ります。

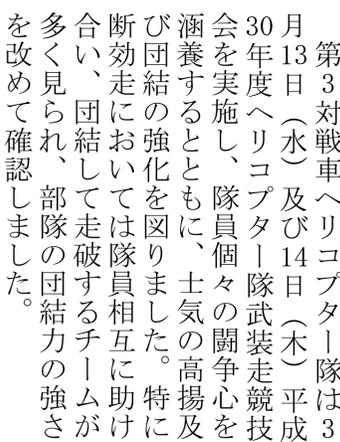
第4飛行隊

第4次飛行隊訓練

第4飛行隊は、2月4日・5日の間、目達原駐屯地及び高良台演習場において第4次飛行隊訓練を実施しました。本訓練では、総合戦闘力の最大限発揮の基盤となる、昼・夜間ホイスト操作及びスリング操作等の特殊操作、広帯域多目的無線機操作要領、野外炊事訓練を演練し、隊員の基礎動作の練度向上を図るとともに、非常呼集から航空機離陸準備完了までの一連の行動を実施して、飛行隊の初動対処能力の向上を図りました。



西ヘリOB会記念撮影



断走走 優勝第2飛行隊



祝賀会食 (隊員家族との会食)



広帯域多目的無線機操作教育



ホイスト操作訓練

ての団結強化及び士気の高揚を図りました。



銃剣道 (Cグループ)



野外炊事献立「とり天」胸肉のそぎ切り

師団特殊防護訓練

第4飛行隊は、1月28日・29日の間、目達原駐屯地で実施された平成30年度師団特殊武器防護訓練に参加しました。本訓練では特殊武器防護の基本的事項である防護マスクの装面動作、防護衣の装着要領等の各個防護及び化学特保有に對する除染器材等の取扱要領とガス汚染地域における偵察班、除染班の行動について演練して、対特殊武器防護の練度向上を図りました。



除染班による除染行動

51周年創隊記念行事

西部方面ヘリコプター隊は、3月10日(日)目達原駐屯地において創隊51周年記念行事を実施しました。

当日は、西方ヘリコプター隊OB会長音成様をはじめ多数のOBの方々及び隊員御家族に参加して頂き、隊員の活動写真展示をはじめ航空機展示、官用車試乗等を楽しんで頂き隊員家族相互の親睦を深め部隊に対する信頼感を醸成しました。また、祝賀会食においては参加して頂いた方々と「創隊50周年の歩み」のDVDを鑑賞して現在までの隊歴を振り返るとともに新たな任務遂行に向け決意を固めました。OB会の皆様及び御家族の皆様からの日頃の御協力と御支援に心から感謝を申し上げ、ヘリコプター隊に対し更なる御理解を賜うよう、今後も任務に邁進して参ります。

西部方面ヘリコプター隊

51周年創隊記念行事

西部方面ヘリコプター隊は、3月10日(日)目達原駐屯地において創隊51周年記念行事を実施しました。

当日は、西方ヘリコプター隊OB会長音成様をはじめ多数のOBの方々及び隊員御家族に参加して頂き、隊員の活動写真展示をはじめ航空機展示、官用車試乗等を楽しんで頂き隊員家族相互の親睦を深め部隊に対する信頼感を醸成しました。また、祝賀会食においては参加して頂いた方々と「創隊50周年の歩み」のDVDを鑑賞して現在までの隊歴を振り返るとともに新たな任務遂行に向け決意を固めました。OB会の皆様及び御家族の皆様からの日頃の御協力と御支援に心から感謝を申し上げ、ヘリコプター隊に対し更なる御理解を賜うよう、今後も任務に邁進して参ります。

ヘリコプター隊 武装走競技会



個人走 スタートの瞬間

第3対戦車ヘリコプター隊は3月13日(水)及び14日(木)平成30年度ヘリコプター隊武装走競技会を実施し、隊員個々の闘争心を涵養するとともに、士気の高揚及び団結の強化を図りました。特に断走においては隊員相互に助け合い、団結して走破するチームが多く見られ、部隊の団結力の強さを改めて確認しました。

51周年創隊記念行事

西部方面ヘリコプター隊は、3月10日(日)目達原駐屯地において創隊51周年記念行事を実施しました。

当日は、西方ヘリコプター隊OB会長音成様をはじめ多数のOBの方々及び隊員御家族に参加して頂き、隊員の活動写真展示をはじめ航空機展示、官用車試乗等を楽しんで頂き隊員家族相互の親睦を深め部隊に対する信頼感を醸成しました。また、祝賀会食においては参加して頂いた方々と「創隊50周年の歩み」のDVDを鑑賞して現在までの隊歴を振り返るとともに新たな任務遂行に向け決意を固めました。OB会の皆様及び御家族の皆様からの日頃の御協力と御支援に心から感謝を申し上げ、ヘリコプター隊に対し更なる御理解を賜うよう、今後も任務に邁進して参ります。

第4飛行隊

第4次飛行隊訓練

第4飛行隊は、2月4日・5日の間、目達原駐屯地及び高良台演習場において第4次飛行隊訓練を実施しました。本訓練では、総合戦闘力の最大限発揮の基盤となる、昼・夜間ホイスト操作及びスリング操作等の特殊操作、広帯域多目的無線機操作要領、野外炊事訓練を演練し、隊員の基礎動作の練度向上を図るとともに、非常呼集から航空機離陸準備完了までの一連の行動を実施して、飛行隊の初動対処能力の向上を図りました。



西ヘリOB会記念撮影



広帯域多目的無線機操作教育



ホイスト操作訓練

ての団結強化及び士気の高揚を図りました。



銃剣道 (Cグループ)



野外炊事献立「とり天」胸肉のそぎ切り

師団特殊防護訓練

第4飛行隊は、1月28日・29日の間、目達原駐屯地で実施された平成30年度師団特殊武器防護訓練に参加しました。本訓練では特殊武器防護の基本的事項である防護マスクの装面動作、防護衣の装着要領等の各個防護及び化学特保有に對する除染器材等の取扱要領とガス汚染地域における偵察班、除染班の行動について演練して、対特殊武器防護の練度向上を図りました。



除染班による除染行動

51周年創隊記念行事

西部方面ヘリコプター隊は、3月10日(日)目達原駐屯地において創隊51周年記念行事を実施しました。

当日は、西方ヘリコプター隊OB会長音成様をはじめ多数のOBの方々及び隊員御家族に参加して頂き、隊員の活動写真展示をはじめ航空機展示、官用車試乗等を楽しんで頂き隊員家族相互の親睦を深め部隊に対する信頼感を醸成しました。また、祝賀会食においては参加して頂いた方々と「創隊50周年の歩み」のDVDを鑑賞して現在までの隊歴を振り返るとともに新たな任務遂行に向け決意を固めました。OB会の皆様及び御家族の皆様からの日頃の御協力と御支援に心から感謝を申し上げ、ヘリコプター隊に対し更なる御理解を賜うよう、今後も任務に邁進して参ります。

西部方面ヘリコプター隊

51周年創隊記念行事

西部方面ヘリコプター隊は、3月10日(日)目達原駐屯地において創隊51周年記念行事を実施しました。

当日は、西方ヘリコプター隊OB会長音成様をはじめ多数のOBの方々及び隊員御家族に参加して頂き、隊員の活動写真展示をはじめ航空機展示、官用車試乗等を楽しんで頂き隊員家族相互の親睦を深め部隊に対する信頼感を醸成しました。また、祝賀会食においては参加して頂いた方々と「創隊50周年の歩み」のDVDを鑑賞して現在までの隊歴を振り返るとともに新たな任務遂行に向け決意を固めました。OB会の皆様及び御家族の皆様からの日頃の御協力と御支援に心から感謝を申し上げ、ヘリコプター隊に対し更なる御理解を賜うよう、今後も任務に邁進して参ります。

ヘリコプター隊 武装走競技会



個人走 スタートの瞬間

第3対戦車ヘリコプター隊は3月13日(水)及び14日(木)平成30年度ヘリコプター隊武装走競技会を実施し、隊員個々の闘争心を涵養するとともに、士気の高揚及び団結の強化を図りました。特に断走においては隊員相互に助け合い、団結して走破するチームが多く見られ、部隊の団結力の強さを改めて確認しました。

51周年創隊記念行事

西部方面ヘリコプター隊は、3月10日(日)目達原駐屯地において創隊51周年記念行事を実施しました。

当日は、西方ヘリコプター隊OB会長音成様をはじめ多数のOBの方々及び隊員御家族に参加して頂き、隊員の活動写真展示をはじめ航空機展示、官用車試乗等を楽しんで頂き隊員家族相互の親睦を深め部隊に対する信頼感を醸成しました。また、祝賀会食においては参加して頂いた方々と「創隊50周年の歩み」のDVDを鑑賞して現在までの隊歴を振り返るとともに新たな任務遂行に向け決意を固めました。OB会の皆様及び御家族の皆様からの日頃の御協力と御支援に心から感謝を申し上げ、ヘリコプター隊に対し更なる御理解を賜うよう、今後も任務に邁進して参ります。

第4飛行隊

第4次飛行隊訓練

第4飛行隊は、2月4日・5日の間、目達原駐屯地及び高良台演習場において第4次飛行隊訓練を実施しました。本訓練では、総合戦闘力の最大限発揮の基盤となる、昼・夜間ホイスト操作及びスリング操作等の特殊操作、広帯域多目的無線機操作要領、野外炊事訓練を演練し、隊員の基礎動作の練度向上を図るとともに、非常呼集から航空機離陸準備完了までの一連の行動を実施して、飛行隊の初動対処能力の向上を図りました。



西ヘリOB会記念撮影



広帯域多目的無線機操作教育



ホイスト操作訓練

ての団結強化及び士気の高揚を図りました。



銃剣道 (Cグループ)



野外炊事献立「とり天」胸肉のそぎ切り

師団特殊防護訓練

第4飛行隊は、1月28日・29日の間、目達原駐屯地で実施された平成30年度師団特殊武器防護訓練に参加しました。本訓練では特殊武器防護の基本的事項である防護マスクの装面動作、防護衣の装着要領等の各個防護及び化学特保有に對する除染器材等の取扱要領とガス汚染地域における偵察班、除染班の行動について演練して、対特殊武器防護の練度向上を図りました。



除染班による除染行動

第321基地通信中隊

大隊射撃競技会
大隊通信競技会



大隊射撃競技会優勝



大隊通信競技会準優勝

9月14日(金)北熊本射場で実施された平成30年度大隊射撃競技会において部隊対抗の部「優勝」、1月19日(土)日達原駐屯地で実施された平成30年度大隊通信競技会において中隊の部「準優勝」の成績を収めることができました。中隊全員が一つの目標に向かって練習を実施し、各種戦技能力の高さを示すことができました。

部隊新編に伴う工事

平成31年1月中旬から3月下旬までの間、日達原駐屯地体制改革に伴う内線電話システム等の新設及び切替工事を実施し、計画通り新編部隊へシステム通信を提供することができました。



部隊新編に向けた配線工事

西部方面管制気象隊第1派遣隊

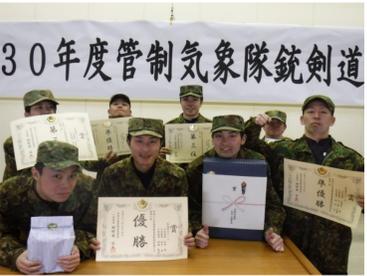
3月14日、西部方面管制気象隊銃剣道大会が高遊原分屯地において開催されました。

隊本部、基地隊、派遣隊合同での試合は数年ぶりということもあり、この日のために練習に励んできた選手達は白熱した試合を繰り広げ、会場を沸かせました。特に個人戦においては、派遣隊の隊員同士での一騎打ちになるなど、目が離せない試合展開となり、応援も大いに盛り上がりました。

試合終了後は、各チームともに互いの健闘を称えあい、和やかな雰囲気の中、閉幕しました。



白熱する両者(高遊原駐屯地にて)



良好な成績を修めた隊員達

西シ通群本部中隊映像写真小隊空中伝送班

原子力防災訓練
へり映伝訓練

空中伝送班は、2月2日(土)、平成30年度佐賀県原子力防災訓練、9日(土)、鹿児島県原子力防災訓練に各3名が参加し、防災各関係機関及び関係部隊との連携要領について演練し、原子力災害対処におけるへり映



防災訓練ブリーフィング



鹿児島県防災訓練機内状況

像伝送能力の向上を図りました。また、3月12日(火)、中隊年度計画訓練となる第5回へり映像伝送訓練に3名が参加し、薩摩硫黄島硫黄岳噴火を想定した被害状況等の撮影・ナレーションを実施し、佐多岬展望所に推進した地上伝送班との連携も含め練度向上を図り、今後の即応態勢の資を得ることができました。引き続き総監の目となり映像伝送即応態勢を維持し、つつ更なる映像伝送能力の向上に努めます。

修親会・曹友会



先頭で清掃を実施した駐屯地司令と副処長

2月20日(水)午前7時から8時までの1時間、駐屯地修親会と曹友会は合同により、駐屯地外柵沿いの清掃活動を実施しました。

早朝、駐屯地司令以下43名が参加し、普段清掃が行き届かない側溝内のゴミ等を広げました。参加した、駐屯地広報室樋口1尉は「幹部、准曹が協力して活動することには意味が大きく、終わった後は清々しい気持ちになりました。」と述べていました。



外柵の側溝内を清掃



外柵沿いの清掃状況

曹友会

ふれあい家族いちご狩り

1月12日(土)に、福岡県朝倉郡にある、らいおん果実園にて、実施された、佐賀・筑後地区曹友会合同事業の「ふれあい家族いちご狩り」に、日達原駐屯地隊員10家族41名が参加しました。

当日は、雲ひとつない絶好のいちご狩り日和で、参加家族は、たくさん品種にどれを食べようか迷いながらも、赤く色づいた甘いいちごの実をほおぼり、冬の果実を満喫しました。



映像訓練命令下達



八幡岳移動受信装置開設状況



子供たちも笑顔でピース



会員家族で記念撮影



美味しいイチゴに大満足

善行表彰



九州補給処補給部 里中3曹



清々しい朝の集合写真



鳥栖市・三養基地区消防長から感謝状を受賞(鳥栖市消防局にて)

九州補給処補給部 里中3曹は3月2日(土)鳥栖・三養基地区消防長から人命救助により感謝状を受賞しました。

1月12日(土)鳥栖市陸上競技場において、子供のマラソン大会(九千部杯駅伝大会)を応援していった際に、倒れている男性を発見し駆けつけ、その場に居合せた数名で人命救助を行ったものであり、里中3曹は、競技場に備付けてあったAEDを操作し、迅速かつ

広報室編集後記
以前から料理に興味があったが、だしについては市販の顆粒だしを使っていた。私の中ではだしをとる(とれる)人が料理ができる人のイメージだったのだから、いつか私もだしをとるようになるのかなあなどと漠然と思っていた。

定年退官者及び
定年退官予定者

的確に救命処置を行い、意識を回復させることが出来ました。里中3曹は、「衛生科隊員として、隊員に対し、日頃から人命救助の重要性について教育・指導を実施しているが、AEDを実際に使用し患者が蘇生する姿を見て改めてAEDの重要性を再認識した。」と述べました。

▽4月	補給部	菰田2佐
5日	調会部	山本曹長
6日	3対戦	田代曹長
▽5月	整備部	林 准尉
5日	整備部	金子1尉
16日	整備部	中尾3佐
17日	西後支	古賀曹長
22日	西後支	山口1曹
27日	整備部	堀田1曹
31日	整備部	